



# 世界平和統一聖殿

WORLD PEACE AND UNIFICATION SANCTUARY

人類歴史の初めに、エデンの園で、自由、独立、良心、そして神との結びつきある神の創造本然の世界が確立されるべきだった。それは、権力ある天使長達が、神の子女の僕になる世界だった。しかしながら、墮落により、エバは、天使長と姦淫を行い、アダムを誘惑して神に背く罪を犯させた。そのようにして、サタンが人類を支配する世界が築かれ、歴史から明らかなことは、中央集権化された権力が、政治上、宗教上、又は財政上、偽りの体制と権力を用いて人類を支配してきたということである。その過程においては、ある時には段階的に自由が奪われ、またある時には力づくで自由が抹殺されたのである。サタンを代表する偽りの権力機構に、二度と再び人類と人間性を支配させない神の王国が確立されなくてはならない。神の王権の役割は、神とこの世の人々との間のこの契約を保全し保護することでなくてはならない。

(天一国合衆国憲法・前文より)



**文亭進** Hyung Jin Moon  
(サンクチュアリ教会・創設者)

偉大なる神の御旨の重大な摂理的使命を担って現れた文鮮明師の七男として生まれ、その使命の相続者・後継者・代身者としての任命を受け、2015年よりサンクチュアリ教会を創設して会員の指導育成に邁進される。



## 「いのちの種」本の配布

“生命は愛から生まれます。愛から生まれ、父母から愛を受け、愛によって成長して、愛する妻に出会ってまた愛し合い、その愛の中に死んでいきますが、これが人生なのです。ですから、悲しみと苦痛はあり得ないのが本来の人生なのです。”  
(「いのちの種」P8 )

■ ご希望の方には上記の本を配布しています ■

ROD OF IRON KINGDOM

# 原理が読み解く 聖書と未来



神の創造  
人間の堕落  
神の救いの摂理

わたしはまた、新しい天と新しい地を見た。  
先の天と地とは消え去り、海もなくなってしまった。

また、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意をととのえて、神のものを出て、天から下って来るのを見た。  
また、御座から大きな声が叫ぶのを聞いた、

「見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまして、人の目から涙を全くぬぐいとて下さる。  
もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。  
先のものが、すでに過ぎ去ったからである。」

— ヨハネ黙示録21章 —

終末とはいかなる時代か？

# 神の創造

世界のベストセラーとして知られている聖書では、この世は神による天地創造によって始まったとされています。その創造において、神は主となり父なる神として存在し、その天地創造はあくまでも善なる被造世界の誕生を願われたのです。山も川も空も海も、植物も動物も、そして人間も、神はそれらの存在を見て喜び楽しもうとされたのであり、神の創造の目的は、永遠なる創造の美と喜びの中にその創造の動機を定め、それを実現してこられました。すなわち神は、人間同様心ある心情の神であり、愛の永遠なる主体的な神として存在し、愛する対象を訪ね求め、永遠なる愛と美の授受の姿をこの世界に求められたのです。

そして、神の創造の御業の最後の結実として神は人間を創造され、その人間に三大祝福の御言を語り与え、その神の御旨の実現を切に願い尋ね求められました。



# 人間の墮落

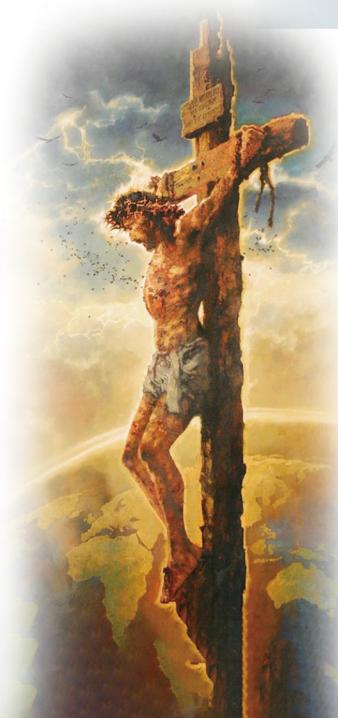
しかし、このような神による天地創造の壮大なる御業と御旨の最終段階で狂いが生じてしまいました。それは、神によって創造された最初の男女であるアダムとエバによる未完成期における姦淫の墮落によってです。アダムとエバは罪を犯してしまいました。蛇の姿をして悪魔化してしまったサタンの誘惑に陥り、神の創造目的が完成されないまま、不義なる愛の実を食べてしまい、世界に悪という神の創造ではない異物を取り込ませてしまったのです。これにより一変に天地が怪しくなりました。

世界には善と悪という二つの世界が現れ始め、人間は墮落した人間となり罪人となって、人類史は善惡闘争の歴史となってしまい、そこに神の愛を見出すことが困難なほどの苦悩と葛藤の歴史社会を作り出してきました。



# 神の救済

善なる喜びの世界として創造したこの世界が、悪なる世界に堕落したとして、神はそのままその世界を放置なさる神ではありません。神は直ちに人間を中心とする世界の救済を決意され、そのことを人間との間に契約し、その摂理を実行してこられました。しかし、神の救済には人間自身の責任分担の遂行が不可欠であり、神は長い歴史を通してその責任に預かる個人や家庭や民族を訪ね求めて来られたのです。旧約時代、神はアブラハムという人物を見出して契約を交わし、将来選民アブラハムの家系にメシヤを遣わすと約束されました。神によって選ばれた民としてのイスラエルの人々の選民史とも言える記述こそまさに旧約聖書であり、そこには律法をはじめとして現代にも通じる神の預言が示され、イエス・キリストの降臨が明確に記されています。



# イエスの降臨

そして遂に、旧約時代の神の契約に基づいて、今から約2020年前に人類の救い主であるイエス・キリストがユダヤの地に降臨しました。しかし彼は選民イスラエルの民に受け入れられることなく非難と嘲笑にさらされ、僅か33歳の若さでゴルゴダの丘の上で十字架に磔にされ処刑されました。

ここにおいて神の御旨は、人間の不信仰と責任分担の不履行によって再び延長を余儀なくされ、神は人間との間に再びキリストを遣わすとの新しい契約を必要としました。これが神と人間との間の新たな約束であり、その約束の書が新約聖書です。



# 再臨主の 降臨

絶対者であり全能者であられる神様は、更に遂に1920年、韓半島の地に再臨のキリストの使命を担われた一人のお方を遣わしました。その方こそ文鮮明師その人です。

その方は16歳のイースターの朝に、イエス様が靈的に現

れ、「私の使命を受け継いでほしい」との願いを託され、以来、限りない迫害や嘲笑や批難の嵐に晒されながらも、ただただ神と神のみ旨と人類救済のために不撓不屈の道を歩まれました。

そしてその方は、2012年に「すべてを成した」と語られながら93年の生涯を全うされました。



# 再臨主の 後継者・相続者

2012年に聖和の時を迎えた文鮮明師は、それに先立つ2009年、師の七男である文亨進氏に、父であられる師の使命の後継者・相続者・代身者として冠を被らせ、神の摂理的使命の継承を託されました。

その後様々な曲折を経ながらも、文亨進氏はアメリカ・ペンシルベニアの地に世界平和統一聖殿・通称サンクチュアリ教会を設立させ、神のみ旨と摂理的目的の完成のために献身的な活動を推進しておられます。

